

わい性サヤインゲンのジベレリン2回処理による節間伸長促進および増収技術

わい性サヤインゲンの節間伸長処理栽培を改良した簡易な増収技術

研究開発の背景

- ・わい性サヤインゲンでは、節間伸長による増収を図るため、ジベレリン処理が行われるが、使用回数が1回のみに限られているため、効果が不安定。
- ・そのため、節間伸長および増収を目的に、ジベレリン2回処理技術を確立する。

研究成果の内容

ジベレリン処理方法

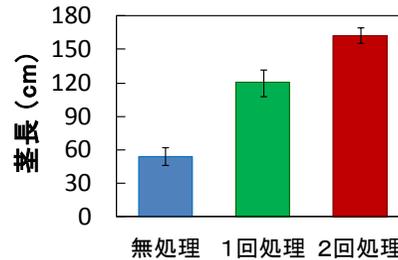


・**1回目処理**
本葉0.5葉時(第1本葉6~10mm程度)に、5ppm液を2mL/株となるように茎頂散布する。



・**2回目処理**
1回目処理4~5日後の本葉1.5葉時に、5ppm液を2mL/株となるように茎頂散布する。

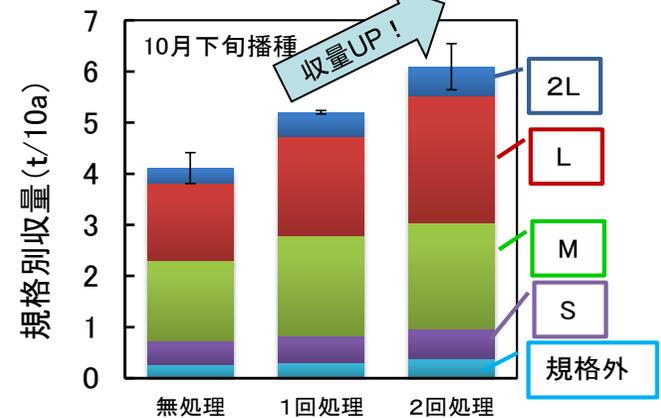
2回処理栽培



- ・2回処理によって、茎が伸長し、株のバラツキも小さくなる。
- ・2013年4月10日に登録農薬の適用拡大が認められた。

導入メリット

- ・従来の1回処理に比較して約2割増収。
- ・可販果率は1回処理と同等で9割。



※収量は2011年度および2012年度の平均値

- ・品種「サーベル」、「ベストクロープキセラ」で同様の増収効果がある。
- ・棟高3.0m以上のビニルハウスで栽培可能。

期待される効果

- ・わい性サヤインゲンの増収による農家所得の向上と市場供給量の増加に貢献。

導入をオススメする対象
わい性サヤインゲンの促成および半促成栽培地域